

銚子漁港の水揚数量は2年振りに全国首位を奪還

全国主要23漁港(市場)の2011年取扱高(震災により一部未集計の漁港もあり概数値での公表、11年23漁港計174万トン、前年比▲11.4%)が八戸市から発表された。それによれば、銚子漁港の水揚数量は225,618トン(前年比+5.3%)で、焼津漁港(焼津魚市場と小川魚市場の合計)の202,503トンを上回り、2年振りに全国1位となった(水揚高は250億円で前年比▲1.4%、全国5位)。東日本大震災直後、銚子漁港では出漁を見合わす時期もあったが、港湾施設の被害が比較的小さかったことや漁業関係者の復旧に向けた懸命の努力で、漁港の機能を早期に通常の状態に回復したため、東北や茨城県などの漁船のなかには銚子港を利用した船もあった。魚種別では、いわし類(前年比+49.4%)、さんま(同+74.8%)等が豊漁であった。

銚子市の観光の中心である犬吠埼地区では、放射能汚染の風評被害の影響や津波への恐怖などから来訪者が激減し大きなダメージを受けていたが、銚子市では、観光客誘致と漁港の活性化や新鮮で安全・安心な銚子の水産物をPRするために、11年7月には「いわし祭り」、10月は「さんま祭り」、11~12月は「銚子極上さば料理祭」、12月4日から本年1月29日までは「銚子生まぐろ祭り」などを立て続けに開催した。イベントは日帰り客中心ながらいずれも盛況で、「観光客は震災前の7割程度まで戻ってきている」(銚子市)との感触。

今後、水産業という地場産業を活性化させ、元気な銚子をPRしていくためにも、水揚数量日本一を奪還した銚子漁港の勢いを、今年も官民一体となって、特徴ある各種イベントなどを通じて粘り強く発信していくことが重要と考える。

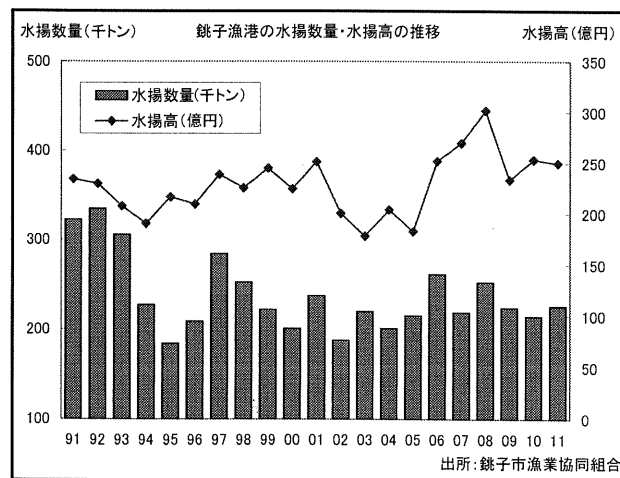
なお、銚子市の漁船数及び漁業就業者数について、88~08年までの20年間に限ってみると(千葉県「漁業センサス結果報告書」、漁船数は308隻から172隻へと大幅に減少し(▲136隻、▲44.2%)、漁業就業者数も1,174人から482人へと激減した(▲692人、▲58.9%)。年齢別では、10~30歳代の若手が214人から101人へと半減、逆に60歳以上のベテランが156人から199人へと増加し、漁業就業者の高齢化率は13.3%から41.3%へと大幅に上昇している。

こうした状況を踏まえ、今後も銚子漁港の水揚数量を維持・拡大していくためには、漁業後継者の育成や市外漁業者の利用促進のための魅力作りが期待される。(井上)

銚子漁港で水揚げされた主な魚種(単位:トン)

年	08年	09年	10年	11年
いわし類	34,603	61,814	76,672	114,551
さば	133,854	76,974	93,794	50,896
さんま	52,655	61,333	13,841	24,191
ぶり類	6,714	2,704	6,856	8,469
まぐろ類	5,100	6,659	5,468	6,523
あじ類	7,286	2,249	9,017	5,100
かつお	2,692	4,386	833	4,765

出所:銚子市漁業協同組合



全国主要漁港(市場)の水揚数量・水揚高

水揚数量の順位	漁港名	前年順位	水揚数量(単位:トン)			水揚高(単位:億円)		
			10年	11年	前年比(%)	10年	11年	前年比(%)
			出所:八戸市					
1位	銚子 (千葉県)	②	214,240	225,618	5.3	254	250	▲1.4
2位	焼津 (静岡県)	①	218,783	202,503	▲7.4	461	458	▲0.7
3位	境港 (鳥取県)	⑦	118,535	147,942	24.8	154	194	26.6
4位	松浦 (長崎県)	⑤	123,793	140,952	13.9	185	232	25.9
5位	長崎 (長崎県)	④	124,081	129,533	4.4	314	323	2.9
6位	八戸 (青森県)	⑥	119,474	121,511	1.7	234	210	▲10.1
参考	石巻 (宮城県)	③	130,288	28,032	▲78.5	179	44	▲75.5
	気仙沼 (宮城県)	⑨	103,609	28,099	▲72.9	225	85	▲62.1

注1. 焼津は小川漁港を含む。注2. 震災により一部未集計の漁港もあり概数値での公表。

注3. 境港漁港ではスルメイカやイワシ類、クロマグロなど年間を通じて豊漁。松浦漁港では夏場のマアジ、ブリなどが豊漁。